

## 2002年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2002年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2002年度秋季総合分科会の際の9月26日(木)14時35分より、島根大学教養1号館100教室にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第7巻3号の会報107でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介は、今までと同様にご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載することになりました。(五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。)

### 特別賞

小沢 登高 (東京大学大学院数理科学研究科・助手)

業績の題目:「作用素空間論の $C^*$ 環への応用」

受賞感激. 修論の宿題を解決しなければという強迫観念に捕われて就職後しばらく無駄に過ごしましたが, スッパリあきらめて新しいことを勉強したのが成功に繋がりました. これまで面倒を見てくれた人たち, 特に河東教授に感謝します.

久保 英夫 (静岡大学工学部共通講座・助教授、博士(理学))

業績の題目:「高次元半線型波動方程式の解の漸近挙動の研究」

非線型波動方程式の解の挙動に興味を持ち, 研究してきました. この分野では, 基本的と思われる問題でも技術的な困難から未解決のままのものが少なからずあります. 今後は, 問題の本質についてさらに理解を深め, 必要なものを創造していければ, と思っています.

志甫 淳 (東京大学大学院数理科学研究科・助教授)

業績の題目:「クリスタル基本群の研究」

正標数の体または  $p$  進体上の代数多様体のコホモロジー, ホモトピーにまつわる様々なことに興味があります. いろいろな方のおかげでささやかな結果を得られたことに感謝しつつ, そこから広がる世界があればいいなあと思っています.

### 奨励賞

市原 一裕 (奈良女子大学理学部情報科学科・学振特別研究員)

業績の題目:「3次元多様体のデーン手術と本質的局面の研究」

主に実3次元位相多様体, 特に双曲構造を許容する双曲多様体の, 本質的曲面やデーン手術を研究対象としています. これを機に, より深い理解を求めて, 研究を進めていきたいと考えています.

奥山 裕介（静岡大学理学部数学科・助手）

業績の題目：「無理的中立周期系の複素力学系の研究」

子供の頃，遊び道具は頭の中に描いた設計図をもとに，鋸で板切れを切ったりプラ板を温めて加工したりして自分で作るのが楽しいものでした．ようやく数学もそんな風に出てきたようです．受賞題目とも関連する，解析の「小分母の **difficulty**」の数論的様相にずっと関心を持っていて，今まで分野を限らずに交流を楽しませて頂いています．ますますの御鞭撻よろしくお願ひ申し上げます．

小林 真一（東京大学大学院数理科学研究科・研究生）

業績の題目：「超特異還元をもつ楕円曲線の岩澤理論」

専門は整数論で，趣味は釣りです．ゼータ関数の持っている数論的情報の豊かさに触れるたびに感動しています．そしてこの素晴らしい数学文化に自分も参加できることを大変うれしく思います．今後もなにかの貢献ができるように精進していきます．今回このような賞をいただいたことを心から感謝致します．

佐藤 進（千葉大学大学院自然科学研究科・助手）

業績の題目：「局面結び目の射影図に関する研究」

4次元内の閉曲面を対象とする2次元結び目理論を，3次元への射影図を用いて研究していますが，まだまだ「見える」とはいえません．いつかは曲面結び目に直接接触して，自由に変形できるようになりたいと思っています．

田中 仁（学習院大学理学部・助手）

業績の題目：「掛谷の極大関数の重み付き評価に関する研究」

掛谷極大関数の評価を **Fefferman-Stein** 型の **weight** を積んで調べている．

実解析には子細に研究すると仕組みの細部を知ることのできるスケルトン時計のような魅力があり，興味が尽きない．

これまで，多くの方のご助力により研究を続けることができた．自分の視点を大切に，今後も研究を進められればと願っている．

深谷太香子（東京大学大学院数理科学研究科・学振PD）

業績の題目：「 $K_2$  Cokeman 巾級数とその応用について」

博士論文で定義した  $K_2$  Coleman 巾級数，を中心に関連する事（保型形式の  $p$  進  $L$

関数の構成等)を研究してきました。今後は自分の興味を大切に色々な事に取り組みたいですし、その為にも人としての心を大切にしたいと思っています。